基本目標２　支え合う地域を創る「つながりづくり」

活動目標③　[　地域の居場所で交流しよう　]

地域福祉計画
関連項目
基本施策１－２

■現状と課題

長門市社協では、住民同士が気軽に集まり、無理なく楽しく活動できる地域の居場所づくりに力を入れてきました。特に「ふれあい・いきいきサロン」活動においては、多くの自治会やボランティアの協力のもと現在市内７９か所に設置し活動されています。しかし、担い手や参加者の高齢化が進み、活動を休止するサロンが増えているのが現状で、現在のサロン活動の在り方自体を見直すことも必要です。

交流活動が継続できるよう地域に密着し、気軽に参加できる多様な地域の居場所づくりを進めることが求められています。

■具体的な取組

	取組内容	取組チェック表		
		Ｒ４年	Ｒ６年	Ｒ８年
一人一人が取り組むこと	●地域の集いの場に参加し、自分が安心して過ごせる居場所を見つけましょう。			
	●できる範囲で地域の居場所づくりや運営に協力しましょう。			
地域みんなで取り組むこと	●地域で孤立しやすい人や閉じこもりがちの人に、ふれあい・いきいきサロンや地域の集まりに誘い合いましょう。			
	●自治会等で、子供から高齢者まで幅広い年代の人が気軽に交流する機会をつくりましょう。			
	●自治会の集会所・公会堂等を集いの場として活用しましょう。			
	●一人一人の特技や経験を活かす機会をつくりましょう。			
社協が取り組むこと	●ふれあい・いきいきサロンの設置促進を図ります。			
	●ふれあい・いきいきサロンに対し助成金の交付、サロン保険の案内及び活動支援を行います。			
	●高齢者団体等が行事等に参加する場合に、参加者の送迎を行う福祉バスを運行します。			

	●ふれあい・いきいきサロンや地域の集まり等での活動が充実するよう、レクリエーショングッズを貸出します。			
	●地域版デイサービス（閉じこもり予防デイサービス）の事業を受託し、高齢者の閉じこもり予防支援を行います。			
	●コミュニティ・カフェ設置運営事業を実施し、地域での集い、交流の場の設置を推進します。			
	●地域の居場所整備事業を実施し、空き家や空き店舗等を活用した集いの場の整備を支援します。			
	●家族介護者同士の交流やリフレッシュを図るため、家族介護者ミニ交流会を開催します。（年６回）			
	●聴覚に障害のある人との交流を目的とした「聴々サロン」を開催します。（年 12 回）			
	●新しい生活様式のもとで交流活動が継続できるよう支援します。			

■５年後の姿

●誰もが気軽に立ち寄り、交流できる場所が増えている。
●市内各地区に集いの場所ができている。
●高齢者の社会参加や介護予防につながっている。
●地域の居場所が増えることで、自ら選択し、自分のペースで参加できている。
●交流を通じて地域の課題を発見できている。
●新しい生活様式のもと、地域活動や交流が安心して継続できている。

■地域の居場所　例　今あるもの
＊ふれあい・いきいきサロン
＊子育てサロン
＊地域版デイサービス
＊コミュニティ・カフェ
＊家族介護者ミニ交流会
＊聴々サロン
＊ボランティアサロン
＊深川ルンルン食堂
＊おしゃべりカフェうさぎ
＊100 歳体操グループ
など